



©Yuki Asada

## インドのハーブ湯で心まで温かに

真っ青な空の下、辺り一面に広がるハーブの木。首都デリーから電車で約9時間。インド北東部のアラハバードでは、レモングラスやニームの木をあちこちで目にする。日本でもおなじみ、癒やし効果で人気の薬草だ。

このアラハバードで、JICA草の根技術協力事業の支援を受けながら、農民の生計向上に取り組むNPO法人アーシャ=アジアの農民と歩む会。現地で活動が続ける中、理事の三浦照男さんは農民が利益を実感できるような商品を開発できないかと模索していた。

「将来、彼らが自分たちの手で続けていくためにも、村にあるものを使って何かに挑戦したいと。そこで、ハーブを使った入浴剤を思い付いたのです」。

2006年、三浦さんらの指導のもと、村の青年や女性たちによる“お風呂ハーブ”づくりが始まった。

ハーブの葉を収穫して天日に干し、白い布の袋に詰めていく。すべてが手作業だ。「最初は、袋の中身の重さもばらばらでした。でも、それでは商品にはならない。デジタル式のはかりを導入するなど、改善を続けました」と、現地スタッフの町上貴也さんは話す。

入浴剤のセットは、インディアンローズ、レモングラス、ニーム、ヒマラヤ岩塩の4種類。農薬や加工物は一切使われていない、純粋な自然の産物だ。

1日の終わりー。インドの村から生まれたハーブのお湯につかると、何だか心まで温かくなるような気がする。



収穫したハーブを天日干しにする女性たち

問:アーシャ=アジアの農民と歩む会  
URL:<http://ashaasia.org/>  
インドハーブ入浴剤は、(株)ミウラトレーディング(日本販売代理店)で購入可能。50袋入り15,750円(税・送料込)、1袋630円(税込・送料別)。  
TEL:0566-96-1855  
Email:santorem@aimnet.ne.jp

★インドハーブ入浴剤を8人の方にプレゼント!  
詳細は38ページへ→

